

三谷産業株式会社

代表取締役社長 饗庭 達也

本店 石川県金沢市玉川町1-5

東京本社 東京都千代田区神田神保町2-36-1 住友不動産千代田ファーストウィング

情報セキュリティ格付け取得企業の声 <三谷産業株式会社>

最高水準の「AAais」を武器にアウトソーシングサービス推進

三谷産業株式会社様は、取引先様との関係において、いかに存在価値を認めていただくかを念頭に、『お客様にとって「特別な会社」になろう』という経営方針を掲げ、お客様から親しみをこめて敢えて名前で呼んでいただける関係築き、重要なパートナーとして認めていただけることを目指しています。

アウトソーシングデータセンターにおいて、2010年に情報セキュリティ格付けを取得し、現在まで維持し続けています。

格付けを取得する目的や効果などについて、梶谷忠博取締役様にお聞きしました。



取締役財務担当兼業務本部長兼サービス本部長 梶谷忠博様

顧客満足度への挑戦『三谷ISM』における情報セキュリティ格付

当社は、「首都圏・北陸地区・ベトナム」の3拠点のネットワークを軸に6つの事業を推進しています。その1つである IDC を武器にしたアウトソーシングサービスは、1999年のデータセンター事業開始以来、お客様の経営効率化や事業継続・災害対策等、企業価値向上を実現するサービスを提供しています。

当初よりお客様の大切な情報をお預かりする責務から情報セキュリティへの強い信念を持ち、企業理念として「品質保証宣言」で高度な情報セキュリティをお約束していますが、さらに安心して当社サービスを選んでいただけるように、第三者の専門家による客観的な評価として「情報セキュリティ格付け」を取得しました。

他社とは違う唯一無二の特別な価値をお客様に提供し、満足していただくことが『三谷ISM・らしさ』です。『三谷ISM(イズム)』は社員の意識改革や継続的な改善活動により醸成されますが、情報セキュリティ格付けは今やこのような社内活動のための必要不可欠な要素になっています。

全国で第1号となる「IT-BCP 第三者証明書」を取得

情報セキュリティ格付けに加え、全国で第1号となる「IT-BCP 第三者証明書」も取得し、リスク・BCP 対応の実効性を高めると共に、安心・安全なDRサイトとしてお客様へのアピールにも活用しています。

IDC 事業の営業・技術拠点は東京にあります。運用・技術拠点は、震災の面で堅固な地盤である北陸地区に置いています。この地区で運用しているデータセンターは、免震・耐震構造を有し、電源設備・ネットワークの完全二重化、超高感度センサー等の対策に加え、セキュリティ設備やデータバックアップ体制の導入、緊急時の運用要員確保等の施策により、大災害発生時も事業継続が可能であることを「IT-BCP 第三者証明書」を取得することで、事実として第三者の専門家に証明してもらっています。

情報セキュリティ格付け・第三者証明取得の目的と効果

元々の取得目的は知名度を上げ顧客獲得に貢献することでしたが、受審活動の結果、当初は想定できなかった効果も得られました。最大の効果は「やらされ感」からの脱却です。セキュリティレベルや活動状況の「通信簿」で第三者のお墨付きを得ることにより社員の自信に繋がり、お客様技術者への対応レベルが向上したとの高い評価もいただいています。また、審査結果記録である事由書をリスクアセスメントのインプットとして利用し、自らのリスクマネジメントにも役立てています。

お客様が IDC を決定した要因として、価格・地域性等の他に「情報セキュリティ格付け AAais」も挙げられており、情報セキュリティ格付けの取得は営業面にも大きく貢献しています。

「安心・安全推進」と「格付け」でさらなる事業発展

震災の少ない好立地条件に加えて 2015 年には北陸新幹線の開業が予定されており、都市圏のバックアップとしても当社データセンターをご利用いただけるよう事業推進中です。今年度は、「安心安全推進本部」を立ち上げ、高品位なセキュリティ拠点としての役割を強化し、業種を問わず幅広いお客様との連携を図っていきます。

さらに、国内各セグメントと連携したベトナムでのビジネス展開においても、国内で培った枠組みを基盤とした「仕掛け・仕組み」の構築を推進してまいります。情報システム分野におけるこの枠組みの確実性・正当性を評価するのも情報セキュリティ格付けと第三者証明であることは言うまでもありません。高度な技術に裏付けされた品質・付加価値の高いサービスの提供により、お客様に安心・安全を提供いたします。